

平成28年度一般会計当初予算のポイント

新たな価値観によって未来に漕ぎ出すまちづくり13か月予算

468億8,100万円 (前年度比 Δ4,400万円、Δ0.1%)

当初予算額 **460億9,200万円**
(前年度比 +5億8,700万円、+1.3%)

【増の主な要因】大崎中学校区小中一体校建設事業や市民交流機能等を備えた体育文化センターと総合体育館の複合施設整備事業等の投資的経費の増

(※事業費は一部重複しております)

国の補正予算（一億総活躍社会の実現等）
【平成27年度補正】 **7億8,900万円**

人口減少社会、少子高齢化社会と共存する道を歩む!!!



過去からの脱却

- ・ 体育文化センターの利用中止
- ・ 新保裏館線の開通(5大事業に目処)
- ・ 三条小学校閉校 など

価値観の 変革

このまちの基礎体力を向上させる!!!

- 教育・子育て政策の更なる展開 60.7億円
- 「ものづくりのまち」の更なる深化 40.3億円
- 健幸都市への更なる挑戦 0.9億円
- 安心・安全な暮らしへの更なる追求 16.4億円
- 全ての人々の尊厳の確保 4.1億円

- 大崎中学校区小中一体校の建設
- コト・ミチ人材の活用
- まちなか交流広場の活用
- 緊急内水対策
- 障がい者居住支援拠点施設の開設 ほか

人を去らせず、来たる人を追い求め、歓迎する!!!

- 若年層の転出抑制 0.1億円
- 若年層の転入促進 1.7億円
- 自然動態改善への挑戦 37.9億円
- 実学系ものづくり大学、看護系高等教育機関の検討
- 滞在型職業訓練施設の開設
- 多様な保育ニーズへの対応 (3歳未満児保育の拡充等) ほか

無限の可能性が
広がる大海原へ



- 「高齢者」概念の転換 0.2億円
- 「社会インフラ」概念の転換 10.1億円
- 「一極集中」思考の転換 0.5億円
- (仮称)在宅医療推進センターの整備
- 市民交流機能等を備えた体育文化センターと総合体育館の複合施設の整備
- 都市機能の再構築 ほか

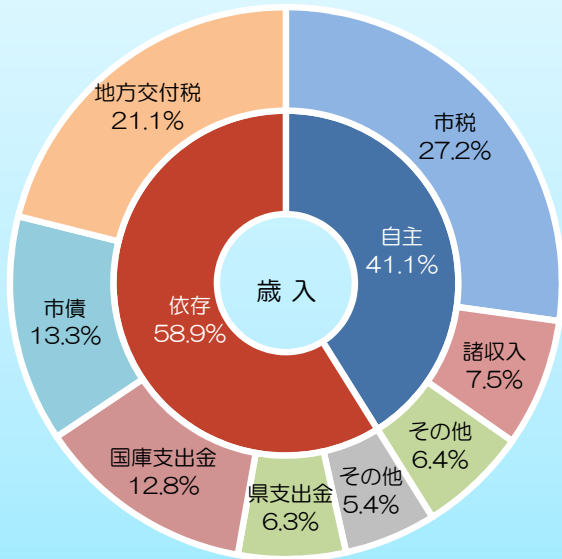
将来都市像

豊かな自然に恵まれた
歴史と文化の息づく
創意にみちたものづくりのまち

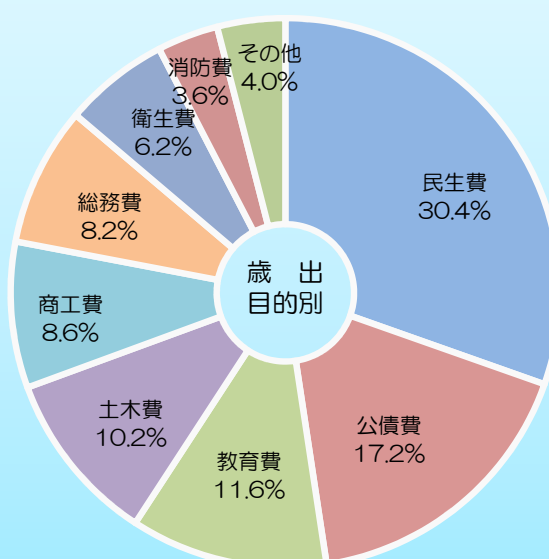
財政指標と「13か月予算」の予算構成比

財 政 指 標						
	H23	H24	H25	H26	H27(見込)	H28(見込)
経常収支比率	93.1%	92.0%	93.1%	93.4%	93.4%	↑ 95.9%
実質公債費比率	14.6%	14.2%	14.4%	14.4%	14.6%	↑ 14.9%
財政調整基金残高 (退職手当基金を含む)	30.7億円	63.8億円	71.2億円	74.3億円	74.5億円	↓ 61.1億円

歳入予算構成比



歳出予算構成比（目的別）



歳出予算構成比（性質別）

